

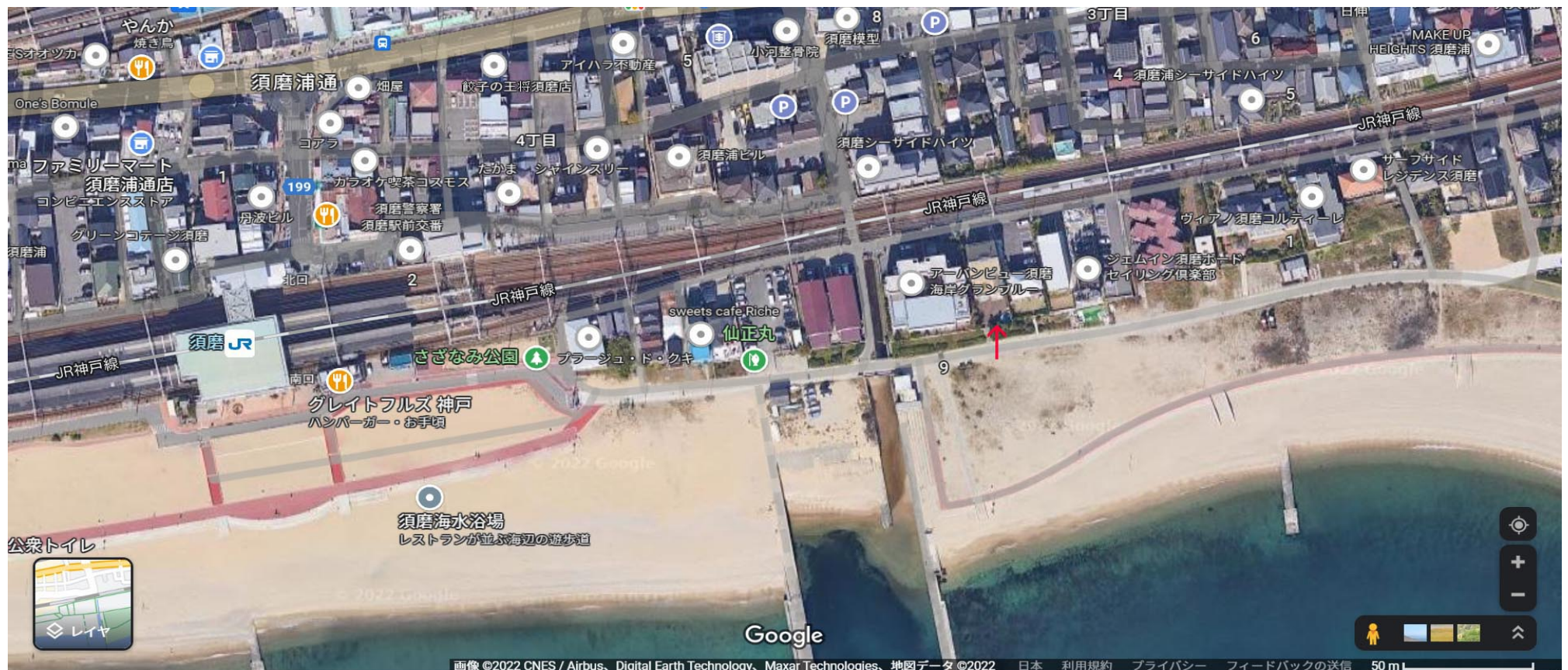
中山説太郎の神戸の住居について

2022/11/6-12 平松

- 2022/8/22 の会議で、中山説太郎の神戸での住居が垂水区にあったとの指摘がありました。
- 中山幹朗氏の「後に川鉄の保養所として使われた、薫風荘という名前だった」との記憶を使って、探索しましたが、確かな情報は得られませんでした。
- 「中山説太郎について」の見直しの中で、昭和 18 年の 14 版人事興信録に、垂水区でなく、須磨区の住所が記述されていることを発見しました。
- 「神戸市須磨区須磨浦 2 ノ 9」と記されています、これが現在のどの場所に該当するか神戸市に問い合わせています(10/27)が、11/6 現在、回答はありません。
- (追記)11/9 神戸市須磨区役所まちづくり課 ササクラ様より TEL あり、「申し訳ありません、問い合わせの場所を特定することができなかった」との回答。
- 古い電話帳(2000 年)の検索で、下記のデータを見つけました。中山幹朗氏の記憶にぴったり符合します。

078-731-1837 川崎製鉄健保組合薫風荘 兵庫県神戸市須磨区須磨浦通 3-2-16

- 現在、「シーサイドハウス千鳥」という古いアパートが建っています(赤矢印)。1996/9 築(築 26 年)、軽量鉄骨 2 階建て、1F 洋室 3 戸、2F 洋室 3 戸との不動産情報です。



- 下図は、大正10年の須磨区の地籍図です、「須磨浦通 3-2-16」に相当する**赤矢印**の土地には「二九・三」の地番が振られています。二九という地番が「2ノ9」の住所と符合していますので、この場所が説太郎邸の所在地と断定できます。



シーサイドハウス千鳥

